

# 平城京外京 東京極大路周辺の史跡探訪

実施:平成21年9月16日

世話人:2774 重野忠史さん

来年の2010年は、710年に藤原京から平城京に遷都して、1300年の節目の年にあたり、平城宮大極殿の落慶他、多くの催しが予定されています。

今回は、普段はあまり足を伸ばさない、平城京外京の東京極大路、奈良坂周辺の史跡を訪ねて見ました。特に東大寺や興福寺など多くの寺院が、平重衡による南都焼討、松永久秀と三好三人衆による戦火などにより、焼失と再建を繰り返してきました。その歴史の一端を辿ってみました。

## 【コース】

近鉄奈良駅前→宿院町→奈良女子大学記念館→聖武天皇陵、光明皇后陵→多聞城跡→奈良豆比古神社  
般若寺→夕日地蔵→北山18間戸→転害門→子規の庭→焼門跡→西大門・雲井坂・轟橋跡→奈良県庁展望台

**東向き通り:** 東6坊大路東側は興福寺領で、人家、商店は道路の西側、即ち東向きにしか建てられなかったという。

**宿院町:** 松永久秀が東大寺にたてこもる三好勢攻めの為の出城の宿院城があった。

宿院仏師といわれる大工(番条)出身の仏師集団の工房があったという。

**奈良女子大学:** この地に、慶長7年(1602)~慶応3年(1866)の44代 **奈良奉行所**があった。  
明治41年(1908)3月 奈良女子高等師範学校設立: 本年が創立100年記念



門柱と旧講堂

門柱、守衛室、正面の講堂(現記念館)  
が国の重要文化財



守衛室

## 聖武天皇陵と光明皇后陵



**法蓮橋(一条大路、佐保路)**  
平城宮から東大寺他の寺社参拝の  
大宮人が通ったという。



聖武天皇陵(正面)。右手奥に光明皇后(仁正皇后)陵

**多聞城跡**(現若草中学校敷地) 法蓮橋から多門町経由、かなりきつい坂を登りつめました。  
城跡(曲郭)より、東大寺を望む、松永久秀の気分？。



手前の墓石は、  
①多聞城建設時に松永久秀が  
取り壊した墓地のもの。  
②筒井順慶による多聞城取り壊し時  
遺されたもの。  
③若草中学校舎敷地造成時に  
出土したもの。  
などが、混じりあっている。

奈良坂の途中で【奈良少年刑務所】



明治45年完成。全国5箇所同時着工で  
現在、奈良のみ残る。

### 奈良豆比古神社

辰巳神主による翁舞(国指定重要無形民俗文化財)他の説明を受けました。資料館の案内を頂きました。



左写真は翁舞の舞台

【資料館の見学】

猿楽の各種お面と衣装

多くは奈良国立博物館に預託

元明天皇陵墓図

元正天皇陵墓図

山車。大仏鉄道レール



元明天皇陵墓図



神社裏の楠木(奈良県指定天然記念物)幹周り約8m  
樹高約30m、樹齢約千年

樹下の暗闇は蚊が多くて閉口しました。

神社社務所(翁舞時の準備室)をお借りして昼食を  
とりました。

### 般若寺

有名なコスモスはまだ、咲き始めでした。13重の石塔(宋の尹行末が建立)、石の笠塔婆(尹行末の息子の

尹行吉が建立)、楼門が素敵でした。



般若寺境内



13重の石塔



般若寺笠塔婆



← 般若寺楼門  
鎌倉時代の建物、国宝指定。  
扁額には戦乱の傷がありました。  
門を通しての13重石塔、コスモスが  
似合いました。

向かいの明治17年創業の植村  
牧場で牛乳やアイスクリームを  
賞味した人がいました。

北山十八間戸：鎌倉中期に忍性により、ハンセン氏病患者の収容設備として建立された。三角屋のおばさんの  
好意で外観他一部内部を見学しました。すぐ近くの夕日地藏さんは大きな石像でした。

### 転害門



転害門：国宝  
手搔門、手貝門、さほろ門、  
景清門などいろいろな呼び名が  
あります。  
東大寺唯一の天平伽藍です。

子規の庭 正岡子規が投宿して構想を練った對山楼(現天平倶楽部)の庭園を再現



大仏殿と若草山を借景して東大寺の鐘の音を聞く。



この経験が、法隆寺に旅をした時に、かの有名な歌  
「柿食えば、鐘が鳴るなり法隆寺」を生んだと言われる。

この後、奈良県庁の東横で、西大門跡、南都八景の  
雲井坂(押上町)、轟橋跡を確認しました。

県庁屋上展望台 本日歩いたコースや南都八景 南都七大寺を確認しました。



集合写真 良い天気でした。よく歩きました。

